※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	ON!１　（音楽之友社）						
副教材等	３訂版　高校生のための音楽研究ノート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌おう」「合わせよう」「知ろう、楽しもう」「つくろう」の４領域で
音楽的基礎能力を広く身に着け、音楽をより深く知り、味わってもらいたいです。
・学習の到達度は、授業で配布する練習ノートや確認テスト・実技テストで評価します。
・音楽の学習は、選択者のメンバーで協力しながら、授業のムードを創っていきます。その中で
協調性を養い、友達と音楽を創り上げていく喜びを体験してもらいたいです。
・高校の音楽の授業が、みなさんが生涯ずっと音楽を愛好し続けていくきっかけになればと願っ
ています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯に渡り音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性的な音楽表現の能力を高める。

（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりを学び、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

（２）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫し、音楽を評価しながらよさや美しさを味わうことができるようにする。

（３）主体的・協同的に音楽の幅広い活動に取り組み、音楽によって生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。(知識) ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽創作で表している。(技能)	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながら、良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	表情豊かに歌おう！	【歌唱】 翼をください 校歌 花は咲く 少年時代	a:曲想をつかみ、音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりを理解している（知識）。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けている（技能）。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受し、歌詞の内容を考えて自己のイメージを持ってどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:主体的に演奏表現しようと、粘り強く取り組もうとしている。	練習ノート 実技テスト 振り返り	練習ノート 実技テスト 振り返り	授業観察
	ギターの基礎～2重奏へ	【器楽】 ハ長調音階 大きな古時計	a:ギターの基礎的な奏法を身に付け、音階を暗譜で、課題曲を旋律奏またはコード奏で演奏する技能を身に付けている。(技能) 課題曲の曲想をつかみ、ギターの音色や奏法との関わりについて理解している。(知識) b:旋律とコードの特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や演奏効果などを感受しながら、楽器の音色や奏法の特徴を活かして、表現を工夫している。 c:旋律とコードを合わせ、2重奏として楽曲を仕上げようと主体的に取り組もうとしている。	練習ノート 実技テスト 振り返り	練習ノート 実技テスト 振り返り	授業観察
	鑑賞①(ギターの名曲を味わおう！	【鑑賞】 アルハンブラ宮殿の思い出(DVD鑑賞)	a:ギターの音色や奏法に関心を持ち、それらを活かした演奏と楽曲の歴史的背景を理解している。（知識）。 b:視覚的にも鑑賞することによって、自らが演奏する際の参考にし、楽曲そのものの良さや美しさを味わって聴いている。 c:主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	感想文	感想文	授業観察

※令和４年度以降入学生用

２学期	リズム感を養おう！	【ボディ・パーカッション】 Beat　Canon （手拍子と膝打ち）	a:リズム、構成など音楽を形作っている要素を理解している。（知識）。実際に身体を使って音を出し、リズム表現する力を身に付けている。（技能） b:音楽を形作っているリズムの特徴、２パートの関連について考え、カノン形式による表現を創意工夫している。 c：２パートの関連をより客観的に把握し、主体的・共働的にリズム・アンサンブルに取り組もうとしている。	練習ノート 実技テスト 振り返り	練習ノート 実技テスト 振り返り	授業観察
	短いメロディを作ろう！	【創作】 身近なメロディを参考に短いメロディを創作する。	a:身近なメロディの楽譜を見ながら、音楽を形作っている要素を理解している。（知識） a:創意工夫した創作をするために必要な創作の技能を身に付けている。（技能） b:自らの生活の中の音楽から、テーマと歌詞について考えさせ、そこからリズムをイメージさせ、表現を創意工夫している。 c:テーマ・リズムが決まったところへ、既習のギターで音をつけていく。自らのイメージを元に、主体的に取り組もうとしている。 ている	練習ノート 課題提出 実技テスト 振り返り	練習ノート 課題提出 実技テスト 振り返り	授業観察 発表会

※令和４年度以降入学生用

	ギターアンサンブルに挑戦！	【器楽】 島唄(ギター四重奏)	a:琉球音階を用いた旋律と曲想を理解している。（知識） a:ギターの奏法を復習し、パートごとの役割及び、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。（技能） b:音色・リズム・ハーモニーなどを構成している要素を知覚し、四重奏に関わる知識や技能を得たり意識しながら、それらの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法について理解し、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協働的に四重奏で表現する学習活動に取り組もうとしている。	練習ノート 実技テスト 振り返り	練習ノート 実技テスト 振り返り	発表会 課題提出
	和楽器に触れてみよう！	【器楽】 三線体験(島人ぬ宝) (海の声)	a:三線の歴史、楽器の特徴、奏法などについて理解している。（知識） a:三線の基本的な奏法を身に付けている。（技能） ｂ：名曲（島人ぬ宝、海の声）を奏でることによって、三線特有の音色を味わわせ、自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫している。 c:三線よる前奏、間奏と斉唱を組み合わせることによって、講座全体で沖縄音楽を仕上げようと主体的に取り組もうとしている。 さらに余裕のある生徒は「海の声」の弾き歌いに挑戦し、主体的に取り組もうとしている。	練習ノート 振り返り	練習ノート 振り返り	授業観察

※令和４年度以降入学生用

３学期	鑑賞② 日本の音を味わおう！	【鑑賞】さくら変奏曲 春の海	a:楽曲と箏・尺八の音色や奏法との関わりについて理解している（知識） ｂ：日本の音階や、和楽器に関わる知識を得たりして、自己のイメージを持って音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 c:和楽器特有の音色や日本の音楽の曲想を味わい、主体的に鑑賞活動に取り組もうとしている。	感想文	感想文	授業観察
	自由曲に挑戦！	【器楽】 グループアンサンブル ・2～6名 ・使用楽器 ギター キーボード ピアノ	a:各課題曲の曲想と使用楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。（知識） a:各使用楽器の奏法、グループ内での役割、バランスなどを意識して演奏する技能を身に着けている。（技能） b:旋律やスコアの中での役割、グループ演奏に関わる知識や技能を得たり、意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫している。 c:各課題曲の曲想と使用楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、グループ内の他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協働的に合奏で表現する学習活動に取り組もうとしている。	練習ノート 実技テスト 振り返り	練習ノート 実技テスト 振り返り	授業観察 発表会 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度